

UNNA魂プロジェクト4 (令和6年度) の紹介

UNNA魂プロジェクトとは、SDGsの【社会】・【経済】・【環境】のテーマに分け、中学生・企業・行政が村の魅力度アップ、魅力の発信や課題を考え、村長に提案するというプロジェクトです。今回で4回目となります。

本プロジェクトはYoutubeで紹介動画をご覧ください。

ダイバーシティ(多様性)の未来像を提案



社会

恩納村に住みたいかどうかの課題や多様性について学習し、最終的には恩納村の未来像としての提案をマインクラフトで作成した。

古紙をリサイクルしトイレトーパー製作提案



経済

恩納村のリサイクルの現状を学び、廃棄していた古紙をリサイクルし、トイレトーパーにすることを提案した。

赤土流出の課題を小学生へ出前授業



環境

赤土流出問題を中学生が小学生に教えるため、ペッパーくんをプログラムし、一緒に小学生へ出前授業をした。

これまでのUNNA魂プロジェクト

- 2021年: パッと酢まいる、アモサンド、ちゅらかふUVカットミルクの商品開発
- 2022年: 個別避難計画アプリ、軽石の利活用、恩納村産のアーサを使ったお土産の商品開発
- 2023年: 下水道PRのマンホール作成、歴史ロードのCM作成、防災食の提案



「学びの未来」を0歳から

恩納村では、昨年度から恩納村教育ビジョンがスタートし、「つながり」プロジェクトとして、幼児期の学びと小学校に繋げていくための体制整備にも力を入れて取り組んでいます。

令和6年度は、合同研修会や公開授業・公開保育などの場を設け、学びを深めてきました。

5月14日、恩納村保・幼・小幼児教育推進協議会が開催されました。この会は、村内の保育園(保育所)、幼稚園、小学校の先生方が集まり、お互いに理解し合う機会となっています。

また、今年度、恩納村保育ビジョンを策定しました。

「こどもは無限の可能性をもつ豊かな存在」これは、わたしたち恩納村が大切にしていきたいこども像です。こどもたちが自分で考え、表現し、こどもたち一人ひとりの創造性を育む保育教育を推進しています。

